【公印省略】

分柔連発 第９３号

 　　　　令和５年３月１７日

関係各中学校長　殿

柔道部顧問　　　殿

大分県柔道連盟

 会長　穴　井　隆　信

**令和５年度　第２回大分県中学生春季柔道大会（団体）の開催について(ご案内)**

　早春の候、貴殿におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。また、平素より中学校柔道の振興・発展に格別のご理解とご支援を賜り衷心よりお礼申し上げます。

　さて、標記大会を下記の要領により開催いたしますので、貴校選手の出場につきまして格別のご配慮をお願いいたします。

記

**１，名　　　称**　　　　第２回大分県中学生春季柔道大会

**２，主　　　催**　　　　大分県柔道連盟

**３, 主　　　管**  大分県柔道連盟中学部

**４，期　　　日**　　　　令和５年４月２９日（土）

**５，日　　　程**　　　　４月２９日（団体戦）

　　　　　　　　　　　　受　　付　　　　　８：３０～

　　　　　　　　　　　　計　　量　　　　　８：４５～　９：０５

　　　　　　　　　　　　審判・監督会議　　９：１５～　９：４５

　　　　　　　　　　　　開始式　　　　　　９：５０～

試合開始　　　　　１０：００～

　　　　　　　　　　　　表　　彰　　　　　試合終了後

**６，会　　　場**　　　　レゾナック武道スポーツセンター　道場２，３

**７，参加資格**　　　（１）参加選手は、中学１・２・３年生で、校長・地域クラブ活動の代表者が参加を認めた者。

保護者の了承を得ている者とする。また、半年以上の修行経験を有する者とする。

　　　　　　　　　 　（２）監督及びコーチは、出場チームの教職員・地域クラブ活動の指導者とする。但し、コーチは

　　　　　　　　　　　　　 部活動指導員・外部指導者も認める。（コーチは、審判を必ず行う。）

　　　　　　　　　　 　※地域スポーツクラブの指導者は全日本柔道連盟の公認指導者資格Ｃ以上がないと監督になれ

　　　　　　　　　　　　　　ない。

　　　　　　　　　　 （３）参加選手は、令和５年度全日本柔道連盟に登録した者に限る。

**８，チーム編成**　　 　（１）団体戦

1. 選手・監督は各中学校単位・地域クラブ活動単位とする。

地域クラブ活動の参加資格については、全日本柔道連盟登録と「大分県中学校体育連盟地域クラブ活動の参加資格の特例　競技部細則」（詳しくは、大分県中学校体育連盟ホームページ参照）に準ずる。

1. 男子は監督とコーチ各１名・選手５名・補員２名、女子は監督とコーチ１名・選手３名・補員１名のチーム編成とする。（満たない時は、男子３名・女子２名より可）

　　　　　　　　　　　　　③ オーダーは、最も体重の重いものを大将とし、以下体重順に編成する。

**９，競技方法**　　　（１）団体戦

1. 男女共参加チーム数によりパート数を決め、予選リーグ（３チームリーグを基本）を行い各パート上位２チームにより決勝トーナメント戦を行う。（参加チーム数によって変更有）

※予選同パートは決勝トーナメント１回戦で対戦しないようにする。

　　　　　　　　　　　　　② 予選リーグの順位は、次の方法により決定する。

　　　　　　　　　　　　　　 (a) チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。

　　　　　　　　　　　　　　 (b) (a)において同等の場合は、勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　 　(c) (b)において同等の場合は、勝ちの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　 　(d) (c)において同等の場合は、負け数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　 　(e) (d) において同等の場合は、負けの内容により決定する。

　　　　　　　　　　　　　 　(f) (e)において同等の場合は、１名による代表戦（任意の選手）で決定する。

　　　　　　　　　　　　　③ 決勝トーナメント戦の勝敗は、次の順によって決定する。

　　　　　　　　　　　　　　 (a) チーム間における勝ち数の合計による。

　　　　　　　　　　　　　 　(b) (a)において同等の場合は、勝ちの内容による。

　　　　　　　　　　　　　 　(c) (b)において同等の場合は、１名による代表戦により決定する。

**１０，競技規則**　　　 （１）「国際柔道連盟試合審判規定（２０２２年４月１日施行の新ルール）」及び国内における「少年大会特別規定」による。

　　　　　　　　　　 （２）勝敗の判定基準は、「一本」「技有」または「僅差（指導の差２以上）」とする。

　　　　　　　　　　 （３）団体戦（決勝トーナメント）の代表戦は任意の選手とし、判定基準は個人戦と同様とする。

　　　　　　　　　　 （４）優劣の成り立ちは、以下のとおりとする。

　　　　　　　　　　　　　　　「一本」＝「反則勝ち」**＞**「技有」**＞**「僅差」

（５）試合時間は、３分間とする。延長戦は無制限とする。

（６）柔道衣にゼッケン（チーム名・名字入り）を次の要領で縫い付けて出場すること。

　　（書体は太字ゴシック体とする。明朝または楷書でもよい。）

　　　①布地は白とし、サイズは、横３０～３５ｃｍ、縦２５～３０ｃｍとする。

　　　②名字（姓）は上側２／３、学校名は下側１／３とする。

　　　③男子は黒色、女子は濃い赤色とし、はっきりと記名する。

　　　④縫い付ける場所は、後襟の下から５ｃｍ～１０ｃｍ下部の位置とし、周囲と

　　　　対角線を強い糸で縫い付けること。

（７）女子は、上衣の下に白色または白に近い色の半袖でＴシャツまたは半袖レオタードを

　　　着用すること。なお、Ｔシャツのマーキングについては、全柔連が定める規定（平成２５年

　　　４月１日より施行）に準ずる。

　　　　　　　　　　　（８）柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーターを着用して受けること。

**１１，組み合わせ**　　　　令和４年度大分県中学校新人柔道大会の結果を参考にして決定する。

**１２，参加費**　　　　　団体戦　男女各　３，０００円　　　(当日受付で徴収）

**１３，申し込み**　　　　（１）申込書に必要事項を記入し、メールで申し込むこと。

その後、押印したものを郵送（男子は様式１、女子は様式２）

**令和５年４月２０日(木）１７時まで必着。**

　　　　　　　　　　　（２）申込先・問い合わせ

　　**〒879-5421　　由布市庄内町柿原49番地　　庄内中学校内**

**後藤　義治　℡090-2511－9127　 Mail：gotou-yoshiharu@oen.ed.jp**

**１４，そ の 他**　　　　（１）団体戦出場選手は計量を行う。

　　　　　　　　　　　（２）柔道衣（ゼッケンを含む）は、公益財団法人全日本柔道連盟柔道衣規格に合格

　　　　　　　　　　　　　　した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用すること。（IJF：赤枠　全柔連：赤番号）

　　　　　　　　　　　　　　※柔道衣コントロールで合格しなかった選手は、出場を認めない。

※１年生の柔道衣・ゼッケンは前所属のものでも出場可（新しい柔道衣が間に合わない場合）とします。ただし柔道衣のサイズについては規定どおりでお願いします。

　　　　　　　　　　　（３）申し込み後の団体戦の選手変更は、大会前日（28日・金）の１７時までとする。

　　　　　　　　　　　（４）要項や申し込みについて不明な点は、申し込み担当まで連絡をお願いします。

　　　　　　　　　　　（５）脳震盪の対応について指導者及び選手は下記事項を遵守する。

　　　　　　　　　　　　　①大会１ヶ月前以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（６）皮膚真菌症（トンズランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任におい

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　て必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、

　　　　　　　　　　　　　　　　迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。もし、選手に皮膚真菌症の感染

が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

　　　　　　　　　　　（７）全日本柔道連盟「試合場におけるコーチの振る舞いについて」を採用する。

　　　　　　　　　　　（８）今大会結果とR4県新人戦の結果で、７月の県総合体育大会のシードチームを決定する。

　　　　　　　　　　　　　（下の図を参照。県総合体育大会の抽選についてはシードチームを振り分け、あとはフリー抽選とする。）

☆以下のポイントでシード校を決定

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 大会名 | １位 | ２位 | ３位 | ベスト８ |
| 県新人戦ポイント | ５ | ４ | ３ | １ |
| 県春季大会ポイント | ８ | ７ | ６ | ３ |

**１５、新型コロナウイルス**（１）選手・指導者は検温と手指消毒を行った上で、会場に入る。

　　　**感染症対策**　　　　（２）発熱、体の倦怠感、頭痛や吐き気、味覚障害などの症状がある場合は参加を控える。

（選手のみならず、指導者についても同様）

 　（３）各所属の指導者は大会当日まで、選手の体温や体調チェックを毎日行い、上記（２）の

ような症状が ある生徒についての参加は控えるようにする。

（４）マスクを着用については個人の判断とする。

（５）指導者についても、上記（４）同様の対応を可能な限り行う。

（６）保護者・応援者の入場については、観客席での観戦を可とする。

（７）参加チームは当日の受付時に、別紙１の『チーム同行者体調記録表』を提出すること。